

七夕祭の面影くなつかしのマコモ馬

七夕祭の飾りといえば、どのようなものを思い浮かべるでしょうか。短冊を下げた笹飾りや華やかなくす玉、色とりどりの灯笼など、さまざまなものがあるかと思えます。このような一般的に広く見られる飾りの他に、それぞれの地域に古くから伝えられてきた飾りもあります。

行田の農家では、七夕にマコモで作った馬を飾ることが行われてきました。マコモはイネ科の多年草で、河川や沼地、田んぼの周囲などに自生しています。このマコモを刈り取り、天日で乾燥させたものが材料になります。七夕飾りとしての馬は埼玉県や千葉県をはじめとする関東地方に多く見られるもので、一般的に「マコモ馬」「七夕馬」と呼ばれています。行田では「マ



民家の庭に飾られたマコモ馬

「マコモ馬」または単に「馬」と呼ばれることが多いようです。行田のマコモ馬は二体一組で飾られます。作り方は基本的に二体とも同じですが、片方を雄、もう片方を雌として、雄を少し大きめに作る家もあります。飾るときは、馬と同じくマコモで編んだ縄を戸外に張り、二体の馬を向かい合わせに括りつけて飾ります。周囲の飾り付けは家ごとに少しづつ違うそうです。

七夕は元々旧暦七月七日の行事で、お盆の直前に行われるものでした。行田ではマコモ馬にうどんやぼたもちを供えたり、ほおずきを一緒に飾ったりする家もあることから、盆行事との結びつきが読み取れます。また、マコモ馬には特別な力があると考えられていたようで、子どもが溺れたときにマコモ馬を使ったおまじないをするという言い伝えもあるそうです。（郷土博物館 岡本夏美）

はじめまして



平成30年9月生まれのお子さんを募集します

- 7月1日(月)～31日(水)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、8月2日(金)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



平成30年7月生まれのおともだち



野口 晴翔ちゃん(渡柳)
平成30年7月27日生まれ
父・昌紀さん 母・渚紗さん
〔毎日元気に 大きく育ってね♡〕



千装 夏向ちゃん(富士見町)
平成30年7月7日生まれ
父・洋平さん 母・有紀さん
〔これからもたくさんの 笑顔を見せてね♡〕



川崎 悠那ちゃん(下忍)
平成30年7月7日生まれ
父・雅敏さん 母・友紀子さん
三元気に
〔すくすく育ってね♡〕



千野 鈴香ちゃん(城西)
平成30年7月31日生まれ
父・健太郎さん 母・美里さん
三元気に生まれてきてくれて ありがとう☆



吉田 野々花ちゃん(持田)
平成30年7月15日生まれ
父・正明さん 母・美穂さん
〔毎日楽しく元氣、元氣!!〕



武藤 結ちゃん(長野)
平成30年7月22日生まれ
父・隆さん 母・郁さん
〔健康に育ってね〕

今月の表紙

5月18日、総合公園自由広場で第30回行田市一輪車競技大会が開催され、市内外から69人の小学生が参加しました。この日は、50メートル、100メートル、30メートルスラローム、10メートル遅乗りの4種目で争われました。バランスを取りながら一輪車を乗りこなす選手たちに、周囲から大きな声援が送られていました。

- 市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)まで。
- 市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
- 市報をダイジ版に録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)までご連絡ください。



市報ぎょうだは再生紙を使用しています